

◆セルフトレーニング問題2015◆

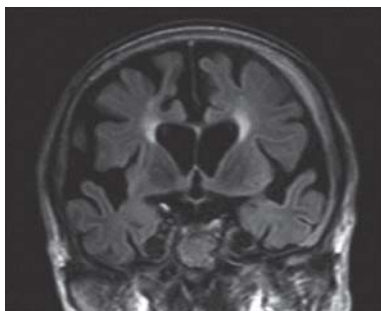
■ 問題 ■

問題1 胃がんの治療について誤っているのはどれか。1つ選べ。

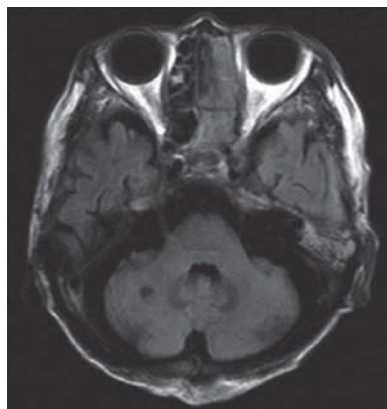
- (a) 深達度が粘膜下層までの病変であればリンパ節転移が多発しても、補助化学療法は行わなくてよい。
- (b) 深達度が漿膜下層の病変でもリンパ節転移がない場合、補助化学療法は行わなくてよい。
- (c) 早期胃がんの場合、内視鏡的治療の絶対適応病変は、深達度が粘膜層で2cmまでの分化型腺癌である。
- (d) 内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）を施行すると、深達度が粘膜下層に及んでいても治療できる。
- (e) 未分化型の病変を内視鏡的に切除した場合、病理学的に大きさが2cm以下で、潰瘍がなく、断端陰性で、脈管侵襲もない場合は治癒切除と判断できる。

問題2 91歳男性の頭部MRI像（下図：FLAIR像 冠状断像および横断像）で、認められない所見はどれか。2つ選べ。

- (a) 脳腫瘍
- (b) くも膜下出血
- (c) 陳旧性の梗塞
- (d) 慢性硬膜下血腫
- (e) 大脳半球萎縮



FLAIR 像 冠状断像



FLAIR 像 横断像



FLAIR 像 横断像

問題 3 55歳女性. この10年間, 生活習慣, 体重に変化はなく, 特記すべき病気の発症はなかった. 50歳で閉経した. 45歳と55歳の2回の間ドック健診の結果を比較した. 検査結果で明らかに増加したと考えられるのはどれか. 1つ選べ.

- (a) ALP
- (b) HDL-C
- (c) 血小板
- (d) 骨量
- (e) 白血球

問題 4 血糖コントロールについて誤っているのはどれか. 2つ選べ.

- (a) 糖尿病において継続的治療は重要ではない.
- (b) 慢性合併症の予防, 進展抑制のためには, 単に血糖コントロールのみでなく, 肥満, 血圧や脂質代謝の改善を目指す. また, 禁煙を守る.
- (c) 大血管症については, 食後高血糖だけを認める耐糖能異常の段階から発症・進展する可能性が高い.
- (d) HbA1c で, 食事療法や運動療法だけで血糖正常化を目指す際の目標は6.0%未満, 合併症予防のための目標は7.0%未満, 治療強化が困難な際の目標は8.0%未満である.
- (e) 細小血管合併症の発症に関して血糖コントロールの閾値が存在する.

問題 5 腹部超音波健診判定において要精査 (D2) となる脾臓の所見はどれか. 1つ選べ.

- (a) 脾臓の腫大 (最大径 13cm)
- (b) 脾嚢胞 (充実部分なし)
- (c) 脾腫瘍 (高低エコー混在腫瘍像)
- (d) 描出不能 (脾摘歴なし)
- (e) 副脾

問題 6 乳がんの危険因子について誤っているのはどれか. 1つ選べ.

- (a) 喫煙
- (b) 放射線被曝
- (c) エストロゲン補充療法
- (d) 初経年齢・閉経年齢
- (e) BRCA1or2 遺伝子変異

問題7 緑内障について誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) 眼底検査は診断に有用でない。
- (b) 人間ドック健診では非接触性眼圧計が使用される。
- (c) 視野検査は診断に有用である。
- (d) 眼圧が20mmHg以下でも緑内障になる。
- (e) 日本では40歳以上の人口の3%に見られる。

問題8 FDG (フルオロデオキシグルコース)-PET について正しいのはどれか。1つ選べ。

- (a) 10mm以下の結節や肺胞上皮癌は偽陰性になる場合が多い。
- (b) がんの診断能はCTのほうがFDG-PETよりも高い。
- (c) Standard uptake value (SUV)は定量性に問題がない。
- (d) カルチノイド腫瘍は偽陽性になる場合が多い。
- (e) 悪性細胞は良性細胞よりもグルコースの消費が少ないことを利用した検査である。

問題9 いわゆる「現代型うつ病」の特徴で誤っているのはどれか。2つ選べ。

- (a) 他罰的
- (b) 中高年層の発症
- (c) メランコリー性格
- (d) 軽躁状態
- (e) 未熟な性格

問題10 非アルコール性脂肪肝炎 (NASH) と関連がないのはどれか。1つ選べ。

- (a) 活性酸素
- (b) マロリー小体
- (c) 脂肪滴沈着
- (d) 抗ミトコンドリア抗体
- (e) インスリン抵抗性

問題11 「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」について、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 提供者からの同意が困難な場合、代諾者等からの同意によることができる。
- (b) 研究に参加しなくても不利益がないことを説明する必要がある。
- (c) 死者に関する個人情報^の安全管理は必要がない。
- (d) 研究参加の同意後に同意撤回はいつでも可能である。
- (e) 個人情報管理者は臨床検査技師も職務にあたるのが可能である。

問題12 腎臓専門医に紹介すべき慢性腎臓病患者はどれか。2つ選べ。

- (a) 2+以上の蛋白尿。
- (b) 喫煙かつ1+以上の血尿。
- (c) 0.1g/gクレアチニン以上の蛋白尿。
- (d) 蛋白尿と血尿がともに陽性(1+以上)。
- (e) 推算糸球体濾過量(eGFR)70mL/min/1.73m²未満。

問題13 人間ドックを受診した女性2,000人の腹囲(cm)について調べたところ、平均値78.0、中央値77.0、標準偏差9.0、標準誤差0.2であった。測定データが正規分布を示すと仮定した場合、値の95%が含まれる範囲はどれか。1つ選べ。

- (a) 51.0~105.0cm
- (b) 60.0~96.0cm
- (c) 69.0~87.0cm
- (d) 77.6~78.4cm
- (e) 77.8~78.2cm

問題14 偽性血小板減少症を診断するために有効な検査はどれか。2つ選べ。

- (a) ヘリコバクター・ピロリ抗体測定
- (b) 抗血小板抗体の測定
- (c) 末梢血塗末標本
- (d) ヘパリン加血による血小板数測定
- (e) 活性化部分トロンボプラスチン時間(APTT)測定

問題15 最近のがんに関する統計について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) がんによる死亡数は年間約36万人である。
- (b) がんによる死亡割合は約29%である。
- (c) がんの生涯リスクとしては5人に1人ががんになる。
- (d) がんの医療費は一般診療医療費の約13%である。
- (e) がんの継続的な医療をうけている人は約150万人である。

問題16 無症候性(微小)脳出血について誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) 脳出血の危険因子である。
- (b) アミロイドアンギオパチーと関係がある。
- (c) 脳出血の既往のある患者にみられる。
- (d) 脳卒中の既往のない高齢者にもみられる。
- (e) 脳梗塞の既往のある患者にはみられない。

問題17 非結核性抗酸菌症について正しいのはどれか、1つ選べ。

- (a) 50~60歳代の男性に増加傾向が見られる。
- (b) 画像診断で肺結核との鑑別は容易である。
- (c) 早い段階での抗生物質の投与が有効である。
- (d) 血痰を伴うことが多々ある。
- (e) 激しい咳嗽と喀痰が特徴である。

問題18 関節リウマチ (RA) 診療ガイドライン2014において誤っているのはどれか、1つ選べ。

- (a) RA が診断された後、すみやかに従来型抗リウマチ薬による治療を始める。
- (b) メトトレキサート (MTX) は、活動性 RA 患者に対する最初の治療手段に含めない。
- (c) RA 診療は、最善のケアを目指し、患者とリウマチ専門医の協働的意思に基づき行われる。
- (d) MTX による6ヵ月間の治療が効果不十分で、予後が不良と考えられる場合、生物学的製剤を投与することを考慮する。
- (e) 生物学的製剤投与中の RA 患者で、整形外科手術、特に、人工関節全置換術において、手術部位感染を増加させる可能性が示唆されている。

問題19 CKD (慢性腎臓病) 管理のなかで治療が不要なのはどれか、2つ選べ。

- (a) 蛋白尿
- (b) 高血圧
- (c) 脂質異常症
- (d) 低尿酸血症
- (e) 蛋白尿のない血尿

問題20 腹部大動脈瘤について正しいのはどれか、1つ選べ。

- (a) 喫煙は動脈瘤破裂に関連していない。
- (b) 動脈瘤破裂時の救命率は約50%である。
- (c) 瘤径が大きくなると拡張速度が速くなる。
- (d) 腹部大動脈瘤径が4cm 以下の場合、年間の破裂率は10%を超える。
- (e) 欧米での疫学調査では男性が女性より動脈瘤破裂頻度が高い。

問題21 高尿酸血症の治療について誤っているのはどれか、1つ選べ。

- (a) 痛風・高尿酸血症の治療目的は、痛風関節炎の発症を防ぐことである。
- (b) 合併症である腎障害 (痛風腎) や尿路結石を発症、進展させないことは治療の目的ではない。
- (c) 高尿酸血症が心血管障害の危険因子であるか否かを判定し、血清尿酸値をどのレベルにコントロールすべきかの介入試験を行った成績はない。
- (d) 血清尿酸値は6.0mg/dL 以下にコントロールすることが望ましい。
- (e) 痛風・高尿酸血症は生活習慣病が高率に併発するため十分な配慮も治療上重要となる。

問題22 労災保険における二次健康診断等の給付事業における二次健診として行う検査で、誤っているのはどれか。1つ選べ。

- (a) HbA1c
- (b) 頸部超音波検査
- (c) 空腹時血中脂質検査
- (d) 微量アルブミン尿検査
- (e) 12誘導心電図検査

問題23 慢性骨髄性白血病（慢性期）に関連のない検査所見はどれか。2つ選べ。

- (a) 血清鉄上昇
- (b) 好中球アルカリフォスファターゼ（NAP）活性の上昇
- (c) 持続性白血球増多（15,000/ μ L以上）
- (d) 好塩基球増多
- (e) 脾腫

問題24 高血圧の特定保健指導者で「私は血圧が高いほど調子がいいのです」という発言がみられた。対応として最も適切なものはどれか。1つ選べ。

- (a) 高血圧の合併症を説明する。
- (b) 高血圧の有害性を説明する。
- (c) 発言の根拠となる情報を聴取する。
- (d) 別の話題に変える。
- (e) 受診者の発言を否定する。

問題25 非弁膜症性心房細動では脳梗塞発症のリスク評価のためのCHADS₂スコアに使われないのはどれか。1つ選べ。

- (a) 心不全
- (b) 高血圧
- (c) 年齢 \geq 75歳
- (d) 薬物使用歴
- (e) 脳梗塞やTIAの既往歴